

文部科学大臣賞

印象派な言語たち

愛知県 愛知教育大学附属名古屋中学校2年 クーロン ファニー桜子

講 評

8言語（日英露仏独中韓芬）を聞いたときに受ける印象の違いを数量化して解明しようとした意欲的な作品です。ある文章を8言語に翻訳してIPA（国際音声記号）に変換することで母音と子音の割合を算出して可視化し、それらが言語の印象に影響を与えていることを発見しています。言語の印象というのはとても感覚的な内容ですが、上手に研究対象にして説得力のある考察にまとまっています。文例を増やすことで研究の発展性も期待できる興味深い内容です。

中央審査委員会